

連絡先：

警備救難部警備課補佐 渡邊 晃久

電話： 3591-9795（直通）

3591-6361（内線 5601）

平成18年6月2日
海上保安庁

北太平洋海上保安フォーラムに基づく「多国間セキュリティ訓練」の終了について

- 1 先に広報しておりました「多国間セキュリティ訓練」は、5月29日午後9時45分からカナダ・コーストガード、海上保安庁、ロシア連邦保安庁国境警備局、米国コーストガードが参加して実施しておりましたが、6月1日午前3時にロシア・ウラジオストク南東約180海里（約300km）の地点で終了しました。
- 2 訓練は、米国コーストガード・設標船セコイアを密輸・密航等の不法行為容疑を有する貨物船として想定し、北太平洋海上保安フォーラムの自動情報交換システムを通じ提供された情報をもとに日本、ロシアが順次、公海上（約500海里（約900km））を追跡しました。
- 3 海上保安庁では、5月29日から5月31日午前11時30分までの間、第八管区海上保安本部の巡視船だいせんにより容疑船セコイアを山陰沖で追跡するとともに、5月30日隠岐諸島付近海域において巡視船わかさ及び巡視船さんべによるセコイアに対する立入検査訓練を実施しました。
- 4 訓練の間、参加機関は自動情報交換システムを通じ容疑船の動静情報を共有し、セコイアの追跡状況を同時に把握しました。
- 5 今回の訓練を通じ、参加機関による容疑船の海上追跡能力の向上、共同オペレーションのための連携強化、自動情報交換システムの慣熟を図ることができ、一定の訓練成果は得られたものと思料されます。
- 6 なお、訓練実施中の写真が必要な方は広報室までご連絡下さい。